

会 議 録

会議の名称	第5回茨木市地球温暖化対策推進委員会
開催日時	平成24年2月28日（火） 午後3時 開会 ・ 午後4時30分 閉会
開催場所	茨木市役所 南館3階防災会議室
委員長	玉井 昌宏
出席者	大石 ひとみ、加藤 浩幸、黒川 裕之、玉井 雅人、玉井 昌宏、 藤田 紫、村瀬 径介 (7人)
欠席者	磯崎 強志、今堀 洋子、鈴木 眞由美、西島 貞夫、山口 容平 (5人)
傍聴人	6人
事務局	田中産業環境部長、島本環境政策課長、 松本環境政策課長代理兼政策係長、井澤職員、 畑中第2計画部長、中川研究員（㈱地域計画建築研究所大阪事務所） (6人)
議題（案件）	1 議題 (1) 茨木市地球温暖化対策実行計画(案)について 2 その他 (1) 今後のスケジュールについて
配布資料	1 茨木市地球温暖化対策実行計画(案) 2 茨木市地球温暖化対策実行計画概要版(案) 座席表

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	開会
	1 議題
	(1) 茨木市地球温暖化対策実行計画(案)について
	事務局より説明
	・パブリックコメントの対応について
	・前回からの変更点について
	・概要版(案)について
委員長	ご自由にご意見をいただきたい。
C 委員	P. 40に掲載している、展開する温暖化対策、取組およびプロセス目標例について、変更点を説明していただきたい。
事務局	同じ項目でも、◎、○の付け方にばらつきがあったため、統一した。また、「資源物の分別の徹底」について、市が取り組むとともに、事業者も主体的に参加するというところで、◎に修正をしている。
C 委員	◎と○が多すぎると思う。いくつかまとめられるものは、まとめてはどうか。 P. 59の進行管理の図について説明いただきたい。
事務局	毎年、1人あたりの排出量および評価指標を把握し、目標に対してどうなっているか検討していきたい。また、その結果を推進委員会等に報告を行い、ご意見をいただき、次の取組に反映させていきたいと考えている。プロセス目標は、取組の進捗を見ながら、推進委員会等での意見を参考に設定していく予定である。また、毎年の取組結果は、「いばらきの環境」に掲載し、市民等へ周知していく予定である。
C 委員	プロセス目標は、現段階では例にとどめるという理解でよいのか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	記載している内容は、あくまで例である。今後、推進委員会等でご意見をいただきながら設定していきたいと考えている。
F 委 員	P. 40以降の取組例は、例えば「省エネ診断士の育成」など、色々と具体的な取組イメージが記載されている。これらの取組の受け皿になる担当課等はあるのか。具体的な動きとの関連はどうか。
事 務 局	今後、関係主体や庁内関係課と連携を図りながら、具体化できるよう検討していきたいと考えている。
C 委 員	取組例には、それぞれ目標があるわけではない。それぞれ取り組んでいくと、プロセス目標のような姿になるということか。
事 務 局	そのように考えている。
G 委 員	P. 40の低炭素設備導入支援について、詳細を教えてください。
事 務 局	中小企業等が、温暖化対策のために設備を導入するとなれば、インシヤルコストの負担が大きい。その点を支援する制度として検討していきたい。
B 委 員	「エコオフィスプランいばらき」の実践は、市のみか。事業者は対象とならないのか。
事 務 局	市の事務事業の率先実行計画であるため、市のみを対象と記載している。
B 委 員	名称だけでは、一般向けのように感じるので、記載方法を考慮してはどうか。
D 委 員	太陽光発電導入補助は市のみが関係主体となっており、太陽熱パネルの普及推進は市及び事業者が関係主体となっている。これはどういう意味か。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	補助をするのは、市が主体である。普及推進については、市が中心となりながら、事業者も主体的に普及していただければと思い、記載している。
D 委 員	「太陽光エネルギー導入に向けて」と記載し、関連する項目はひとつにまとめてはどうか。また、「関係する主体」の箇所に役割を記載してはどうか。
事 務 局	関連する項目は精査したい。また、役割の記載については、全ての項目について整理できるかどうかを検討する。
D 委 員	街路灯について、地域で管理しているものもある。そのような団体等がLED照明に交換した場合に補助をすることは難しいのか。
事 務 局	街路灯は、市が管理しているもの、自治会等が管理しているものがある。補助金等の支援策については、今後の検討課題の一つと考えている。
G 委 員	P. 45にエコライフDAYについて概要の説明が掲載されているが、子ども向けにこのような取組を予定されているのか。
事 務 局	取組事例として紹介をしている。現在、市で小学5年生向けの地球温暖化を考える冊子を作成している。その中で、環境問題を考え、日々の生活でどのようなことが出来るのかという内容を記載している。今後、自らが行動することによって、どれくらいの二酸化炭素の削減につながるのかという取組についても、紹介をしていきたい。
C 委 員	プロセス目標の「市民の3%が携わっている」というこの3%はどのような背景から設定しているのか。
事 務 局	特に根拠はない。取組例が実現した場合を想定し、プロセス目標例ということで示している。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
G 委 員	環境・エネルギー教育を推進するため、環境教育ボランティア42名の数を増やしていくイメージか。
事 務 局	環境教育ボランティア制度の周知に努め、環境教育に携わる方を増やしていきたいと考えている。
F 委 員	鉄道の効率改善とはどのようなイメージか。
事 務 局	車両のエネルギー効率の改善がなされていくイメージである。
C 委 員	現時点でも、色々なことを取り組まれていると思う。バスに関する記述はないのか。
事 務 局	バスについても同様に考えているので、記載内容を改める。
G 委 員	市として、どのように交通事業者へ関わることを想定しているのか。状況把握をする程度なのか。
事 務 局	庁内関係課と連携を図りながら、状況把握に努めていきたい。
F 委 員	課題と感じているが、具体の手立てがないというイメージか。
C 委 員	状況を把握するという事は、実施した方がよいと思う。 概要版のプロセス目標の例に記載されている住宅例は、茨木市の住宅の例か。風力発電などは、イメージと遠い気もする。
G 委 員	日本は高温多湿の地域であり、自然エネルギー活用はもちろんのこと、エネルギーをシェアする、エネルギーの地産地消という視点も必要である。最近、スマートコミュニティ、スマートグリッドという時代になり、奪い合う時代から、自然エネルギーを分け合う時代となっている。そういったイメージがよいのではないか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	本編の中で、断熱性能の高い住宅、パッシブ住宅等をイメージしてもらうため、引用可能な環境省のイラストを掲載し、一般的なパッシブ住宅として示している。それを概要版のプロセス目標の例に記載をした。ご指摘のとおり茨木市の住宅例とは多少異なるため、適切なイラストに修正をする。
C 委 員	個別イメージではなく、まちの概観等のイラストの方がよいのではないか。
事 務 局	まちの概観を示すのはイメージ共有も難しいと思う。プロセス目標例のイメージについて、住宅だけでなくいくつかのイメージを記載したいと思う。
G 委 員	プラットフォーム等、あまりカタカナ語は使わない方がよいのではないか。
事 務 局	注釈を入れることで、対応したい。
F 委 員	概要版にも、本計画の目的、主旨を記載した方がよい。
事 務 局	記載する。
E 委 員	委員の皆さんから様々な意見が出ているが、概要版はもう少し工夫が必要だと思う。なお、概要版を1,000部印刷するという話であるが、どこに配布するのか。
事 務 局	概要版は各施設に設置し自由に持ち帰ってもらう。また、ホームページにも掲載する予定である。
E 委 員	ホームページで見る場合、計画書本編はページ数が多いので概要版だけを見られる方も多いと思う。したがって、概要版に掲載する内容については、市民・事業者にも今後重点的に取り組んでほしいことにボリュームを割く方がよいのではないか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
A 委 員	茨木市の二酸化炭素排出量の特性を見ると、産業部門の占める割合が大きい。産業部門が環境に取り組むのは難しいが、方針によって取組の方法が違うのではないか。市の特性を踏まえた上でどのような取組がされているのか考えるべき。そうでないと、取組をやっても結果として反映されない。里山についても以前、意見させていただいたが、現在の状況の中でどのように取り組んでいくか考えていくべきである。特性から考えると、運輸部門のEV・PHVの取組はよいのではないかと思う。
事 務 局	取組については、市の特性を踏まえた上で、具体化できるように進めていきたいと考えている。
C 委 員	本来は総合的な市のビジョンがあった上で、議論した方がよかったのではないか。
事 務 局	市の特性を踏まえた上で、これまで、どのように取り組んでいくべきかを議論していただいたと認識している。
F 委 員	進行管理の中で、プロセス目標を3年に1回見直すというのは、期間が短すぎるのではないか。
事 務 局	3年のスパンであれば検証も可能である。PDCAをまわそうとすると、最短3年ということもあり、このように設定している。
B 委 員	概要版P. 4に、「部会」等の言葉の説明があった方がよい。
事 務 局	説明を加える。
G 委 員	P. 39のスケジュールが、概要版に掲載されていてもよいのではないか。大規模工場跡地での低炭素まちづくり計画など、平成26年は大きな転機の年になるのではないか。市はどのようにかわるのか。全く関係がないのか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	スケジュールの掲載は難しいが、目標に向けての取組がわかるように検討する。大規模工場跡地の件については、市が関わる部分も多くあると考えているので、その中で協力していきたいと考えている。
G 委 員	概要版は、身近で手にとって分かるものがよい。また、文字はもう少し大きい方がよい。
C 委 員	概要版の茨木市の現状のところ、1人あたりの二酸化炭素排出量が減少した要因として、記載内容の他にも、人口が増えたことも起因しているのではないかと。その旨も記載してほしい。
A 委 員	人は、写真を見て認識をし、次に文章を読むので、イラスト等を入れ、そのイラストの説明等もあるとよい。
B 委 員	里山センターは茨木市に実在するのか。であれば所在地も入れた方がよい。 表紙の重点施策とまちの姿がリンクしているのであれば、それが分かる方がよい。
事 務 局	いただいた意見をもとに、もう少し市民等にわかりやすい概要版になるよう再考したい。
事 務 局	2 その他 ・本日いただいた意見について整理をし、3月末を目途に計画を策定する。 ・委員の皆様の任期は2年であり、次年度は、本計画の推進について、引き続きお力添えをお願いしたい。
	閉会